

# 2017 年 度 入 学 試 験 問 題

## 日 本 史 B

(試験時間 14:50~15:50 60 分)

1. この問題冊子が、出願時に選択した科目のものであることを確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙には、記述解答用紙とマーク解答用紙の2種類がありますので注意してください。
3. 解答は、必ず解答欄に記入およびマークしてください。解答欄以外への記入およびマークは無効となりますので注意してください。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。特に、マーク解答用紙には鉛筆のあとや消しきずを残さないでください。
5. 解答用紙を折り曲げたり、汚したりしないでください。また、マーク解答用紙を記述解答用紙の下敷きに使用しないでください。
6. 解答用紙には、必ず受験番号と氏名を記入およびマークしてください。
7. マーク解答用紙への受験番号の記入およびマークは、コンピュータ処理上非常に重要なので、誤記のないよう特に注意してください。

I 次の1と2の文章を読み、それぞれの設間に答えなさい。解答は、漢字を用いるべきところは正確な漢字で記述解答用紙の所定の解答欄に記入しなさい。選択問題についてはマーク解答用紙の記号をマークしなさい。(24点)

1 蘇我入鹿が厩戸王（皇子）の子  A を滅ぼして権力を掌握すると、645年、中大兄皇子は中臣鎌足らの協力を得て蘇我蝦夷・入鹿を滅ぼし、新政権を樹立した。新政権において政治改革を進めた中大兄皇子は、667年に近江大津宮へ遷都し、翌年即位して天智天皇となり、内政の充実に力を注いだ。

天智天皇の没後、壬申の乱に勝利した天武天皇は、八色の姓を制定して豪族の身分秩序を再編し、本格的な都城をともなう藤原京の造営に着手した。天武天皇の後を継いだ持統天皇は諸政策を引き継ぎ、690年には  B という戸籍を作成して民衆の把握につとめた。

持統天皇の後、皇位に就いた文武天皇の下、刑部親王や藤原不比等らによって大宝律令が完成し、律令制度にもとづく国家体制が確立した。中央行政は二官八省を中心に進められ、地方は畿内・七道に区分されて治められた。民衆は戸籍・計帳に登録されて、口分田が与えられ、調・庸などが課せられた。

710年、平城京への遷都が行われた。奈良時代、中央政界では権力争いが繰り広げられた。まず、藤原不比等の子である武智麻呂・房前<sup>a</sup>・宇合<sup>b</sup>・麻呂の四兄弟は、左大臣長屋王を自殺させ、不比等の娘である光明子を聖武天皇の皇后に立てた。だが、この四兄弟は疫病であいついで亡くなり、橘諸兄が実権を握った。これに対し、藤原廣嗣<sup>c</sup>が九州で反乱を起こしたが、まもなく鎮圧された。その後、光明皇太后の信任を得た藤原仲麻呂が権力を握ると、これに反発した橘諸兄の子の奈良麻呂<sup>d</sup>が仲麻呂打倒を企てたが失敗した。仲麻呂は淳仁天皇から惠美押勝<sup>e</sup>の名を賜り権勢をふるったが、孝謙上皇に寵愛された道鏡が台頭すると、それを除こうと挙兵したもののが失敗に終わった。その道鏡も称徳天皇（孝謙上皇が重祚）が亡くなると失脚し、称徳天皇の次の天皇に桓武天皇が就いた。

問1 空欄Aに入る人物名を記しなさい。

問2 下線部①について、天武天皇が「帝紀」「旧辞」の内容をよみならわせた人物名を記しなさい。

問3 空欄Bに入るもっとも適切な語を記しなさい。

問4 下線部②について、七道のうち大宰府が統轄した道の名称を記しなさい。

問5 下線部③について、奈良時代に起こった次のア～オの出来事を古いものから年代順に並べたとき、3番目に位置するものを選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 国分寺建立の詔が発せられた。
- イ. 墾田永年私財法が発せられた。
- ウ. 百万町歩開墾計画が立てられた。
- エ. 養老律令が施行された。
- オ. 三世一身法が施行された。

問6 波線部a～eについて、これらの中に誤りの箇所が一つある。次のア～オの中から正しく訂正しているものを一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 誤りはaで、正しくは百川。
- イ. 誤りはbで、正しくは冬嗣。
- ウ. 誤りはcで、正しくは清麻呂。
- エ. 誤りはdで、正しくは吉備真備。
- オ. 誤りはeで、正しくは光仁。

2 6世紀に伝來した仏教は、日本の古代の文化に大きな影響を与えた。

まず、飛鳥寺（法興寺）や法隆寺（斑鳩寺）などが建立された飛鳥文化は、仏教色が豊かな文化だった。たとえば、飛鳥寺の釈迦如来像、法隆寺の金堂釈迦三尊像、<sup>f</sup>中宮寺の半跏思惟像や天寿国繡帳などが有名である。仏教興隆は白鳳文化においても見られ、薬師寺の金堂薬師三尊像、法隆寺の玉虫厨子などがつくられた。<sup>g</sup>

奈良時代になると、仏教は国家の保護を受けてさらに発展した。鎮護国家の思想のもと、三論・成実・法相・<sup>h</sup>俱舎・華嚴・律の南都六宗と呼ばれる学派が形成され、仏教の教理が研究された。この時代に花開いた天平文化では、東大寺法華堂や唐招提寺金堂などの寺院、校倉造の正倉院、正倉院鳥毛立女屏風や薬師寺吉祥天像といっ<sup>i</sup>

た絵画などが有名である。仏像を見ると塑像や乾漆像<sup>j</sup>の技法によってつくられたものがある。

平安時代になると、天台宗・真言宗が伝わり密教が盛んになった。密教は国家や社会の安泰を祈り、災いを避けたり願いをかなえるため加持祈禱を行い、貴族などの支持を得た。また、神秘的な密教藝術が発展し、たとえば金剛界と胎藏界の二つの仏教世界を図化した C が描かれるなどした。

その後、末法思想が広まると浄土教が人々の心をとらえた。浄土教は阿弥陀仏を信仰することによって死後の往生を願うもので、D が編纂した『日本往生極樂記』のような、極樂往生を遂げたと信じられた人々の伝記を集めた往生伝がつくられるなどした。浄土教の信仰は都の貴族から地方の人々まで及び、その広がり<sup>⑥</sup> を示す寺院や阿弥陀堂が各地に残されている。

問7 波線部 f ~ j について、これらの中に誤りの箇所が一つある。次のア～オの中から正しく訂正しているものを一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 誤りは f で、正しくは四天王寺。
- イ. 誤りは g で、正しくは金堂壁画。
- ウ. 誤りは h で、正しくは黄檗。
- エ. 誤りは i で、正しくは十大弟子像。
- オ. 誤りは j で、正しくは寄木造。

問8 下線部④について、平安時代に起こった次のア～オの出来事を古いものから年代順に並べたとき、3番目に位置するものを選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 承平・天慶の乱が起こった。
- イ. 応天門の変が起こった。
- ウ. 前九年合戦が起こった。
- エ. 安和の変が起こった。
- オ. 平忠常の乱が起こった。

問9 下線部⑤について、この宗派の中心的寺院の一つである教王護国寺（東寺）は、ある天皇から空海が賜ったものである。その天皇の時期にあった出来事としてもっとも適切なものを、次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 国司交替の際に事務引継文書を検査する勘解由使が設けられた。
- イ. 平安京の治安維持を担う檢非違使が設けられた。
- ウ. 藤原基経の地位をめぐって阿衡の紛議が起こった。
- エ. 律令を補足・修正する延喜格式が編纂された。
- オ. 莊園に関する書類を審査する記録莊園券契所が設けられた。

問10 空欄Cに入るもっとも適切な語を漢字5文字で記しなさい。

問11 空欄Dに入る人物名を記しなさい。

問12 下線部⑥について、大分県の国東半島にある九州最古の阿弥陀堂の名称を記しなさい。

II 次の1と2の文章を読み、それぞれの設間に答えなさい。解答は、漢字を用いるべきところは正確な漢字で記述解答用紙の所定の解答欄に記入しなさい。選択問題についてはマーク解答用紙の記号をマークしなさい。(26点)

1 後鳥羽上皇によって引き起こされた承久の乱が、幕府の圧倒的な勝利によって終結してから数年の間に、執権の地位に就いていた父、3代将軍実朝が暗殺されて以降、実質上の將軍として振る舞っていた叔母、そして、京都から鎌倉に下り、幕府の公文所（政所）別当の地位に就いた政策通の A の3名があいついで死去したが、承久の乱後、京都にとどまっていた北条泰時は、父が死去した1224年に  
① 鎌倉に戻り、その跡を継いで執権となるとともに、叔父の B を連署に迎えて幕府の政治組織の基礎固めに着手した。  
②

1246年に執権となった泰時の孫北条時頼は、同年、前將軍藤原頼経と結びついていた北条氏一門の名越氏を失脚させる一方、翌年には幕府成立に貢献した有力御家人三浦氏を滅ぼした。この事件は一般に C と呼ばれている。

D と称される北条氏の嫡流は、これ以後、執権の地位に就いているかどうかに関係なく、幕府の権力を握るようになった。

問1 空欄Aに入る人物の姓名を記しなさい。

問2 下線部①について、承久の乱後、朝廷の監視、京都の警備、西国御家人の統括などを目的として、幕府が京都に設置した組織の名称を記しなさい。

問3 空欄Bに入る人物の姓名を記しなさい。

問4 下線部②について、泰時が行った政治改革の具体策と、この具体策の役割・目的の説明との組み合わせとして正しいものを、次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 引付衆の選任一裁判の迅速化
- イ. 評定衆の選任一合議による幕政運営
- ウ. 問注所の設置一御家人の統率
- エ. 引付衆の選任一合議による幕政運営
- オ. 評定衆の選任一御家人の統率

問5 空欄Cに入る事件の名称を記しなさい。

問6 空欄Dに入る語句を漢字2文字で記しなさい。

問7 下線部③について、北条氏嫡流の家臣として、しだいに幕府の実権を握るようになった勢力の総称と、この勢力の代表者の一人としてあげられる平頼綱が、有力御家人の安達泰盛を滅ぼした事件の名称、及び同事件の発生年の組み合わせとして正しいものを、次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- |                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| ア. 非御家人一明徳の乱—1255年 | イ. 御内人一正中の変—1324年 |
| ウ. 非御家人一霜月騒動—1297年 | エ. 内管領一明徳の乱—1324年 |
| オ. 御内人一霜月騒動—1285年  |                   |

2 鎌倉時代から室町時代にかけて、農業の発達とともに、手工業や商業・流通業の発達も見られるようになった。まず農業については、<sup>④</sup>それぞれの時代に新たな肥料<sup>⑤</sup>が用いられるようになったほか、室町時代になると、水車の利用による灌漑・排水の普及、牛馬耕や鉄製農具の普及などによって、稲作の生産性が高まった。また、畿内や西日本では二毛作も広まった。畑作物としては、楮、藍、漆、桑、茶、荏胡麻などが栽培された。

室町時代には農業だけでなく、商工業も発達したが、それにともなって流通も活発化した。手工業としては、鉄製農具の普及にともない、鍛冶や E と呼ばれる職人（手工業者）が、その製造にあたった。商業については、鎌倉時代にはすでに、地域の中心地などにおいて、月に3回、定期市が開かれていたが、15世紀後半の応仁の乱以降になると、定期市の開催回数は増える傾向となった。<sup>⑥</sup>

商業と流通が発達したことで、遠隔地取引も盛んになると、商品の決済を為替手形によって行うことも一般化した。このような決済の方法は、当時の言葉で、替銭・替米や F と呼ばれた。

また、物資流通の活発化は、交通の発達、特に水運の発達によってもたらされたが、水運の発達を支えるために各地に建設された港町は、流通の拠点として繁栄した。<sup>⑦</sup>

問8 下線部④について、中世に中国から輸入された東南アジア原産の長粒米で、味は淡泊だが災害に強く多収穫なため、室町時代には西日本を中心に普及した、別名「唐法師」、「赤米」とも呼ばれる米の品種の名称を漢字3文字で記しなさい。

問9 下線部⑤について、鎌倉時代にはすでに広く用いられていた肥料の名称と、室町時代から広く用いられるようになった肥料の名称の組み合わせとして正しいものを、次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. (鎌倉時代) 刈敷一 (室町時代) 下肥
- イ. (鎌倉時代) 油粕一 (室町時代) 草木灰
- ウ. (鎌倉時代) 草木灰一 (室町時代) 刈敷
- エ. (鎌倉時代) 下肥一 (室町時代) 油粕
- オ. (鎌倉時代) 厥肥一 (室町時代) 干鰯

問10 空欄Eに入る職人(手工業者)の名称を記しなさい。

問11 下線部⑥について、応仁の乱を避けて東山山荘を営んだ足利義政のもとにちは、剃髪して阿弥号を名のる僧体の技能者・芸能者が仕えていたが、一般に彼らは何と呼ばれたか。その名称を漢字3文字で記しなさい。

問12 空欄Fに入る語句を記しなさい。

問13 下線部⑦について、伊勢神宮の門前町宇治・山田の外港として発展を遂げ、1498(明応7)年に発生した大地震の津波によって大きな被害を受けた港町の名称を、次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 坊津
- イ. 小浜
- ウ. 大湊
- エ. 桑名
- オ. 敦賀

III 次の1, 2の文章と3の史料を読み、それぞれの設問に答えなさい。解答は、漢字を用いるべきところは正確な漢字で記述解答用紙の所定の解答欄に記入しなさい。選択問題についてはマーク解答用紙の記号をマークしなさい。(26点)

1 15世紀の後半に京都で応仁の乱が起こると争乱は全国に広がり、室町幕府の権威は失墜して戦国時代に入った。この全国的な争乱は16世紀の前半になんでもおさまらず、16世紀の後半に織田信長が台頭するようになってようやく収束に向かった。

信長の家は、織田家の中でも尾張守護代の庶流の家柄であったが、父信秀の時代に勢力を増し、父の跡を継いだ信長は一族などとの対立を制して尾張一国の戦国大名としての地位を確立した。そして、信長は周辺の大名らを倒して自らの支配領域を拡大し、Aと刻まれた四文字の印判を用い、近畿地方から北陸地方、東海地方に至るまでの広大な地域を支配下に置いた。

しかし、1582年、京都の本能寺に滞在した信長は家臣であった明智光秀に攻められ、全国の統一を達成する前に自刃した。その後、この明智光秀を倒し、信長の後継者となったのが家臣の豊臣（羽柴）秀吉であった。<sup>③</sup>秀吉は、対立する大名らとの戦いなどをつづけながら、一方で全国統治のための施策も行い、1590年には全国の統一を成し遂げた。

問1 下線部①の時期に来航したポルトガル人やスペイン人を、当時の日本では何と呼んだか、その名称を漢字3文字で記しなさい。

問2 下線部①の時期に伝えられたキリスト教に関する次の記述a～dについて、正しい記述の記号を組み合わせたものを、下のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- a 1549年、フランシスコ会の宣教師フランシスコ＝ザビエルが来日した。
  - b 国内にコレジオやセミナリオがつくられた。
  - c 大内義弘、有馬晴信、大村純忠はキリスト大名と呼ばれる。
  - d 1582年、天正遣欧使節がローマ教皇のもとに派遣された。
- ア. a b

イ. a c

ウ. a d

エ. b c

オ. b d

問3 下線部②の織田信長が行った事柄を記した次の記述a～eについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

a 足利義昭を京都から追放して室町幕府を倒した。

b 比叡山延暦寺を焼き打ちした。

c 上洛の途にあった今川義元と戦い、討ち死にさせた。

d 甲斐国で武田勝頼を自刃させて武田氏を滅亡させた。

e 斎藤龍興を倒して稲葉山城を攻略した。

ア. b → c → a → d → e

イ. c → e → a → d → b

ウ. c → e → b → a → d

エ. e → b → c → d → a

オ. e → c → b → a → d

問4 空欄Aには日本の統一を果たそうとした織田信長の強い意志を示した漢字4文字が入る。この4文字を記しなさい。

問5 下線部③の豊臣（羽柴）秀吉が行った事柄についての記述として正しいものを、次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. 小牧・長久手の戦いで柴田勝家を破り敗退させた。

イ. 摂政に任じられると、全国の大名に停戦命令を出した。

ウ. 京都に聚楽第を築き、正親町天皇を迎えた。

エ. 太閤検地で京耕の使用を公定した。

オ. スペイン船の来航を禁止した。

問6 下線部②の織田信長や下線部③の豊臣（羽柴）秀吉に仕え、妙喜庵侍庵をつくったと伝えられている、茶道の大成者の姓名を記しなさい。

2 18世紀前半、8代将軍の徳川吉宗によって主導された享保の改革は、江戸幕府成立から一世紀余を経て行われた幕政全般にわたる政治改革であり、一定の成果を上げた。

しかし、18世紀後半に入ると再び財政が行き詰まるなどの様相が見られるようになった。また、この時期には経済の進展に伴い不安定な社会状況も現れ、村落では小百姓らが村入用などをめぐり村役人らと対立して B が起こり、都市では民衆らによる打ちこわしも発生した。

こうした18世紀後半に、新たな課税などに力を注ぎ、幕政を主導したのが將軍の側近から老中となつた田沼意次であった。<sup>④</sup> 田沼は將軍に信任されて幕政を進めたが、天明年間に多くの百姓一揆や打ちこわしが発生するなか老中職を解任され、三卿の一つ田安家出身の松平定信が幕政を主導することになった。<sup>⑤</sup> 定信の老中就任は田沼失脚の翌年であったが、老中となつた定信は、農村の復興や江戸の都市政策に力を入れる寛政の改革を推進した。<sup>⑥</sup>

その後、19世紀を迎えると、化政期を経て天保期に入ると、国内で飢饉、百姓一揆・打ちこわし、武装蜂起などがおこり、また、対外関係ではモリソン号が来航する事件などが起こった。このため、老中の水野忠邦はこうした内憂外患に対応するために天保の改革をはじめ、内政と対外関係の施策を実施したが、施策の一つで<sup>⑦</sup>あった上知令の撤回を契機に老中職を解任され、天保の改革は失敗した。

問7 空欄Bに入る、村落で見られた紛争を示す語句を漢字4文字で記しなさい。

問8 下線部④の田沼意次が老中職にあった時期に起きた出来事についての記述として正しいものを、次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 計数貨幣として南鏡二朱銀が発行され、12枚が金1両と同等とされた。
- イ. 商人の資金を利用して印旛沼や霞ヶ浦の干拓事業が進められた。
- ウ. 若年寄の田沼意知が江戸城内で稻葉正休に刺殺された。
- エ. 長崎貿易ではいりこや干あわびなどを詰めた俵物の輸出に力を入れた。
- オ. 間宮林蔵らが蝦夷地に派遣され、実地踏査を行った。

問9 江戸時代に起こった下線部⑤の百姓一揆にはa～cの形態が見られ、これらは時期により変遷したと考えられているが、その形態の変遷を正しく示したものを見つけて、下のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- a 牮百姓一揆
  - b 代表越訴型一揆
  - c 世直し一揆
- ア. a → b → c  
イ. b → a → c  
ウ. b → c → a  
エ. c → a → b  
オ. c → b → a

問10 下線部⑥の寛政の改革で行われた施策についての記述として誤っているものを、次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 旗本や御家人に対する札差の貸金を放棄させた。
- イ. 聖堂学問所では朱子学以外の教授が禁じられた。
- ウ. 江戸へ流入した農民の帰村や帰農を奨励した。
- エ. 江戸隅田川河口にあった石川島に人足寄場が設けられた。
- オ. 江戸の町入用の7割を節減させ、積み立てさせた。

問11 下線部⑦の天保の改革では幕府の外交方針が変更され、1842年には外患への対応策として1825年に発令された法令が改められた。その1825年に定められた法令の名称を記しなさい。

### 3 史料

- 一 せっけんたな いえど そのきよう さんこうせつかん いわ そのはか 摂家為りと雖も、其器用無きは、三公摂関に任せらるべからず。況んや其外をや。
- 一 武家の官位は、公家当官の外為るべき事。
- 一 改元、漢朝の年号の内、吉例を以て相定むべし。(この条、以下略)
- 一 けが はなは しか きょうこう おい えら C の寺、住持職、先規希有の事也。近年猥りに勅許の事、且は薦次を乱し、且は官寺を汚し、甚だ然るべからず、向後に於ては、其器用を選び、

(中略) 申し沙汰さわざ有るべき事。

問12 この史料は、制定された全17条の法令のうちの4ヶ条を示したものである。この法令の名称を記しなさい。

問13 空欄Cには、勅許により着用を許される色の僧衣を指す名称が入る。また、この法令が出された後には、この僧衣をめぐり天皇が突然に譲位する事件なども起こった。あてはまる名称を記しなさい。

IV 次の1と2の文章を読み、それぞれの設間に答えなさい。解答は、漢字を用いるべきところは正確な漢字で記述解答用紙の所定の解答欄に記入しなさい。選択問題についてはマーク解答用紙の記号をマークしなさい。(24点)

1 次の(1)~(10)の出来事は、いずれも近代日本における立憲政治の形成と展開の歴史に関するものである。これについて下記の設間に答えなさい。

- (1) 愛國社第4回大会が開かれて国会期成同盟が結成され、全国的に国会開設運動が展開された。
- (2) 大隈重信を首相に、衆議院の第一党の A を与党とする日本で最初の政党内閣が出現した。
- (3) 衆議院議員選挙法が改正され、選挙権についての納税資格制限が撤廃されて、25歳以上の男子に選挙権、30歳以上の男子に被選挙権を認める、いわゆる普通選挙制度が実現した。
- (4) 衆議院の第一党の総裁 B が、日本で初めて衆議院議員として首相となり、軍部・外務大臣以外は立憲政友会員で組閣し、本格的な政党内閣の時代の幕開けとなった。
- (5) 岩倉具視を全権大使とする使節団の副使として、議会など欧米諸国の近代的諸施設を実地に視察した大久保利通は、帰国した年に、日本は今後「君民共治」(立憲君主制)を目指すべきことを説く意見書を執筆した。
- (6) 明治天皇出席のもとに C での草案審議を経て、大日本帝国憲法が発布され、翌年には帝国議会が開かれ、日本はアジアで唯一の立憲国家となった。

(7) 衆議院議員選挙法が改正されて、女子の選挙権・被選挙権が、男子と平等に認められ、翌年の総選挙では39名の女性代議士が誕生した。

(8) 安部磯雄を党首として結成した D は、反資本・反共・反ファシズムの三反主義の立場をとったが、日中戦争ころよりしだいに右傾化し、近衛文麿が新体制運動を唱えると直ちに解党してこれに合流した。

(9) 前参議の板垣退助は、他の7名と連名で、E の建白書を提出したのち、郷里の高知に帰って立志社を設立し、自由民権運動を推進した。

(10) 女性解放運動は、平塚らいてうらによる青嶺社の結成にはじまり、平塚と市川房枝らがF を設立し、参政権の要求など女性の地位を高める運動を進めた。

問1 空欄Aに入る政党名を記しなさい。

問2 空欄Bに入る人物の姓名を記しなさい。

問3 空欄Cに入る国家機関の名称を記しなさい。

問4 空欄Dに入る政党名を記しなさい。

問5 空欄Eに入るもっとも適切な語句を記しなさい。

問6 空欄Fに入るもっとも適切な語句を記しなさい。

問7 上の出来事を記した(1)・(3)・(5)・(7)・(10)について、古いものから年代順に並べた番号の正しいものを、次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. (1)→(5)→(3)→(7)→(10)

イ. (1)→(5)→(3)→(10)→(7)

ウ. (5)→(1)→(3)→(10)→(7)

エ. (5)→(1)→(10)→(3)→(7)

オ. (5)→(3)→(1)→(7)→(10)

2 第一次世界大戦後の戦後恐慌、次いで関東大震災の震災恐慌と続き、日本経済は大きな打撃をうけていた。1927年3月議会において、[G] 内閣の蔵相片岡直温が財政政策について答弁した中で、東京渡辺銀行がつぶれたと失言した。それがきっかけとなり銀行への激しい取り付け騒ぎが起こり、4月に入って台湾銀行・十五銀行などの銀行が休業するにおよび、金融恐慌は全国的なものとなった。

政府は[H]に対する巨額の不良債権を抱えた台湾銀行を緊急勅令によって救済しようとしたが、これに失敗して総辞職した。[H]は砂糖・樟腦事業から発展し、第一次世界大戦中には台湾銀行の融資を受け総合商社として急成長した。1918年の米騒動の際には神戸の本店が焼打ちにあい、戦後恐慌・震災恐慌で大きな打撃をうけて経営は悪化し、台湾銀行からも融資が打ち切られたため1927年倒産した。[I]は、田中義一内閣の蔵相として金融恐慌を収拾させた。

1920年代の恐慌に際して、政府は日銀券を増発することによって一時的に経済破綻を防いだが、インフレ傾向が深まり工業の国際競争力は弱体化し、寺内正毅内閣の[J]年以来の金輸出禁止とあいまって、国際収支はますます悪化した。

そこで、浜口雄幸内閣の[K]蔵相は産業合理化・緊縮財政につとめ、1930年1月から金解禁を断行し、貿易拡大を図ったが、世界恐慌の影響によって正貨の大量流出となり、日本経済は深刻な恐慌状態に陥った。そこで再び[I]が、犬養毅内閣の蔵相として登場し金輸出再禁止を行った。

問8 空欄Gに入る人物の姓名を記しなさい。

問9 空欄Hに入るもっとも適切な語句を記しなさい。

問10 空欄Iに入る人物の姓名を記しなさい。

問11 空欄Jに入る西暦年とは異なる年に起こった事柄を、次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. 石井・ランシング協定が結ばれた。

イ. ロシア革命が起こった。

ウ. 理化学研究所が創立された。

エ. 日本工業俱楽部が設立され、初代理事長に団琢磨が就任した。

オ. 鈴木文治らにより友愛会が設立された。

問12 空欄Kに入る人物の説明として正しいものを、次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 秘密結社桜会の将校によって暗殺された。
- イ. 血盟団員によって暗殺された。
- ウ. 五・一五事件で海軍青年将校によって射殺された。
- エ. 東京駅において右翼の青年に狙撃され重傷を負い、翌年に死去した。
- オ. 二・二六事件で陸軍皇道派の青年将校によって殺害された。